令和２年４月１日

令和 ２ 年度　檜原村立檜原中学校経営計画

檜原村立檜原中学校長
森　本　友　明

１　目指す学校像

檜原学園の教育理念「一人一人の個性を生かす『生きる力』を育てるために、児童・生徒一人一人に視点をあてた一貫教育を行う」に基づき『檜原学園は檜原村を愛し誇りに思う子供たちを育成し、豊かな人間性を培うとともに、檜原村の『自然と文化・歴史』を尊び、守り、大切にすることを基盤とする『生きる力』を育む一貫教育を行う」という教育目標を具現化する学校をめざす。

（１）基礎・基本を確実に身に付け、活用できる力を育む学校
（２）檜原村を愛し誇りに思い、豊かな人間性を育む学校
（３）たくましく生きるための健康や体力を育む学校

２　目指す子供像

（１）自ら学ぶ檜原の子供
（２）明るく素直で、感性豊かな檜原の子供
（３）元気な体をつくる檜原の子供

３　教育目標

（１）学び考える人［主体的に学ぶ力］
（２）心の豊かな人［主体的に判断する力］
（３）たくましい人［健やかな心身を育成するための実践力］

４　中期的目標と方策

（１）基礎・基本を確実に身に付け、確かな学力を育むために

①小学校との指導交流を行い、檜原学園の子供たちの学力向上に繋げる。
②各教科において育成すべき資質･能力の三つの柱を意識した指導法の工夫改善を行う。
③９年間を見通したカリキュラムにおいて、指導法・評価法の工夫改善を行う。
④ＯＪＴを組織的に活用し、授業力、組織力を高める。

（２）檜原村を愛し誇りに思い、豊かな人間性を育むために

①豊かな自然や素材、地域人材の活用で地域の特色を生かした教育活動を展開する。
②各教科や様々な教育活動を通して檜原村について考えられる力の育成図る。
③道徳授業をはじめ、全ての教育活動の中で豊かな情操と心を培う指導を行う。

（３）たくましく生きるための健康や体力を育むために

①心身の健康指導を実践し、一人一人の児童・生徒に応じた細やかな指導を行う。
②自主・自律・共生の精神を培い、個性の伸長を図り、充実した学校生活を実感させる。
③体験・奉仕活動を通し、社会性を養い視野を広げる指導を行う。

５　今年度の取り組み目標と方策

【取り組み目標】その１

基礎・基本を確実に身に付け、確かな力を育む教育活動を実践する。

◎小中一貫教育、小学校との接続を意識した教育活動の推進

・９年間の系統性・連続性を意識した取り組みの実践

・檜原小学校との各教科の指導交流、合同行事、その他の連携の充実

・檜原学園第三期計画に向けた準備の推進。

◎生徒の学力向上を図る取組

(1)「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」を意識した授業改善の推進

・ICT の活用の推進（教師、生徒の積極的な活用）

・見通しを立てたり、振り返ったりする学習活動の実践

・定期テスト前や長期休業中の補習授業の充実

(2)確かな学力を育むために

・「読解力」の育成を意識した教科指導の実践

・自ら学ぶ力・自ら考える力の育成。コミュニケーション力の育成

(3)学習の基盤となる能力の育成･･･情報活用能力の育成

(4)指導の評価と改善

◎ICT を活用した教育実践について

・電子黒板やタブレット PC を活用した指導を積極的に取り入れる。

◎特別支援教育について

・特別支援教育の理解と指導方法の研修の推進

◎キャリア教育の充実

・キャリア・パスポートを活用したキャリア教育を行い、生徒の自己実現に繋げる。

◎教員の OJT の推進

【取り組み目標】その２

檜原村を愛し誇りに思い、豊かな人間性を育む教育活動を実践する。

◎檜原村を考える教育

・檜原村に古くから伝わる郷土芸能に触れ、檜原村を愛し誇りに思う気持ちを育む。

・「総合的な学習の時間」「特別活動」の年間計画の見直し

① 総合的な学習の内容の見直し

総合学習を軸として、「檜原村の未来を考えられる人」の育成を目指す

② 特別活動の内容見直し

キャリア教育との関連確認

○キャリア教育の充実

将来、自らの人生を自分で切り拓く力を育成するために、まず、身近な檜原村のことを知り、未来の在り方について考える。

１年　職業人講話　身近な職業調べ　　２年　職場体験

○「特別の教科　道徳」

各項目の確実な実施　　適正な評価の実践

○国際理解教育の推進

・留学生を招いた国際交流会の実施（日本文化紹介）

・檜原村海外派遣事業の充実に向けた取組を行う（日本文化紹介、英語活用能力の向上）

・１、２年生グロバールゲートウェイにおける英語活動の実施（７月）

○安全教育の充実

・SOS の出し方に関する教育の実施（全校対象）

○学校図書館の活用と環境の整備

・学校図書館の生徒が活用しやすい環境づくり

○その他

①職場体験、地域清掃等を実施し、社会性を養い視野を広げ、アイデンティティの確立

②生徒会活動の充実を図り、生徒による自治の力を高める

③地域ぐるみで健全育成に取り組む

・ＰＴＡ活動との連携・地区住民との協働　・子ども家庭支援センターとの連携

・檜原村教育相談室・学校支援室との連携　・社会教育・国際交流事業への協力

・社会体育との連携・協働

④檜原村の人材育成事業である２年生の海外派遣事業の充実に向けて、１年次から派遣準備を行う。引率教員は原則１，２年生の学級担任とする。

⑤図書館指導員、地域人材、外部人材を授業などの学習や部活動への活用

⑥年１回鑑賞教室の実施（音楽・伝統芸能・演劇のサイクル）

【取り組み目標】その３

たくましく生きるための健康や体力を育む教育活動を実践する。

◎オリンピック・パラリンピック教育の実践（健やかな体）

・オリンピック・パラリンピック教育の４つのテーマ「オリンピック・パラリンピックの精神」「スポーツ」「文化」「環境」を再確認し、そのテーマを基にした取組の実践

・オリンピアン・パラリンピアンを招いての講演会の実施

◎校内の教育相談体制の充実と外部機関との連携

① 生徒に寄り添った指導の充実

② 生徒の心の変化の早期発見と適切な初期対応を心がける

③ 登校できない生徒への柔軟な学習支援

④ 保護者、ＳＣ、関係機関との連携、相談体制の充実

○健康・安全に関する学習の充実

・防災教育の充実（様々な自然災害を想定した避難訓練の実施）

○部活動の充実

・陸上部・吹奏楽部の活動を通して地道に努力することによる成功体験を味わわせる

○心身の健康の保持増進のため、健康・安全に関する学習の充実

・人権教育の推進　・防災訓練　・セーフティ教室の開催　・安全教育の推進

・環境衛生指導　・食育・栄養に関する指導の実施　・健康・歯科指導

○校外活動の推進

・都内・川越への校外学習の実施○部活動における校外活動（練習、大会、ｺﾝｸｰﾙ等）

・地域行事への参加　・連合音楽会への参加　・連合弁論大会への参加

・西多摩中学校生徒会意見交換会への参加　　・地域ボランティアへの参加

その他の実践

○学校広報活動の充実

・ホームページの積極的な活用、その他広報活動の実施

「生きる力」
○基礎・基本を確実に身に付け、いかに社会が変化しようと、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、より良く問題を解決する資質や能力 ○自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性 ○たくましく生きるための健康や体力
「育成すべき資質・能力」
(1) 何を知っているか、何ができるか（知識・技能） (2) 知っていること・できることをどう使うか（思考力・判断力・表現力等） (3) どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力、人間性等）